

微酸性水生成器ゼオクインにて生成された 次亜塩素酸水の経時安定性データ

■測定条件等

試験場所：株式会社エヌアイシー本社研究室
試験機名：ゼオクイン EX-2000
試験期間：2021年2月10日～2021年3月13日（31日間）
生成方法：水道水約4000mlに対し電解補助液約15ml
電解時間：約25分
測定開始時有効塩素濃度：80ppm (mg/L)
測定開始時 pH 値：6.24 ⇒（※31日後の pH 値は 6.73）
保管使用容器：①透明ボトル、②半透明ボトル、③遮光ボトル

■ゼオクイン EX-2000

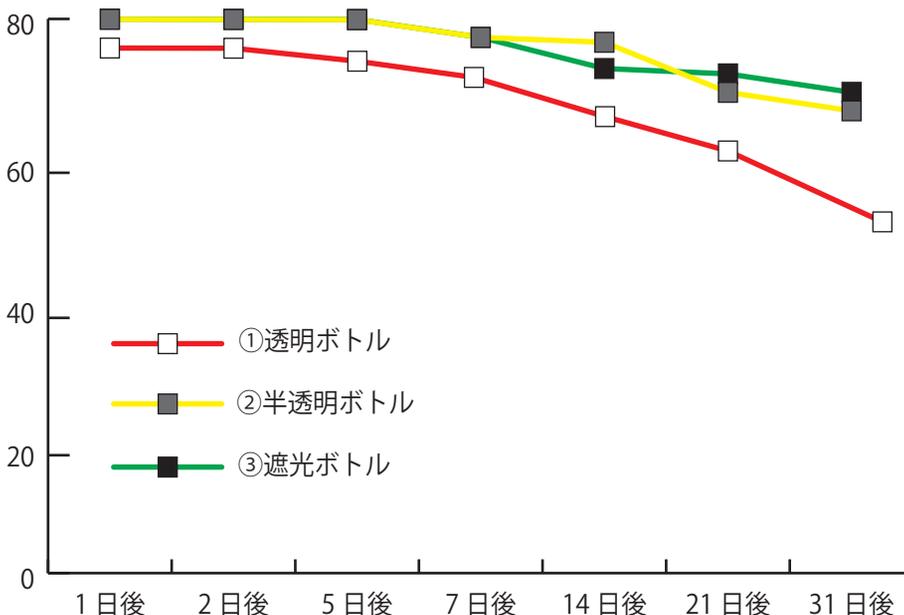


■保管容器の違いによる経時有効塩素濃度変化

測定日	経過日数	①透明ボトル 有効塩素濃度	②半透明ボトル 有効塩素濃度	③遮光ボトル 有効塩素濃度
2021年2月11日	1日後	77ppm	79ppm	79ppm
2021年2月12日	2日後	77ppm	80ppm	79ppm
2021年2月15日	5日後	73ppm	79ppm	79ppm
2021年2月17日	7日後	72ppm	79ppm	79ppm
2021年2月24日	14日後	66ppm	77ppm	75ppm
2021年3月3日	21日後	62ppm	74ppm	75ppm
2021年3月13日	31日後	57ppm	73ppm	74ppm

※赤字は実際の数値であり、この単位での数値は誤差の範囲内であると考えられます。

生成直後の塩素濃度 80ppm(mg/L)



※上記はあくまで弊社測定環境、機器での数値となります。水質等の環境に依存し数値は変化します。

■測定機器および保管容器画像

①透明ボトル 31日経過後



②半透明ボトル 31日経過後



③遮光ボトル 31日経過後

